

第3款 民生費

項1 社会福祉費

目1 社会福祉総務費

主要データ

① 犯罪発生件数の推移

(各年12月末現在)

区分	平成19年	平成18年	平成17年	平成16年	平成15年
発生件数	453	428	577	735	721

1 鉾山地域住民タクシー経費

章	4	節	3	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	130	決算額	118
-----	-----	-----	-----

鉾山地域住民の交通の便を確保するためタクシー利用費用の一部について助成した。

利用世帯数 2世帯

2 無料法律相談業務委託料

章	2	節	3	施策	6
---	---	---	---	----	---

予算額	378	決算額	378
-----	-----	-----	-----

交通事故や金銭貸借など日常生活における法律問題を解決するため、札幌弁護士会室蘭支部に委託し、法律相談を行った。

区 分	平成19年度	平成18年度	平成17年度
相談件数	64 件	97 件	108 件
土地家屋	9 件	19 件	29 件
金銭貸借	14 件	29 件	32 件
交通事故	1 件	2 件	2 件
離婚問題	13 件	23 件	20 件
相続問題	14 件	9 件	7 件
その他	13 件	15 件	18 件

3 社会福祉協議会貸付金(たすけあい金庫)

章	1	節	3	施策	4
---	---	---	---	----	---

予算額	5,000	決算額	5,000
-----	-------	-----	-------

低所得者世帯に対する応急援護資金等の貸付のため、社会福祉協議会に対しその原資を貸し付けした。

区 分	H19年度	H18年度	H17年度
新規貸付金額	605 千円	850 千円	1,995 千円
貸付件数	20 件	18 件	43 件
応急生活費	19 件	18 件	35 件
教育の臨時経費	1 件	0 件	5 件
療養費	0 件	0 件	3 件

4 民生委員児童委員協議会経費

章	1	節	3	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	1,241	決算額	1,241
-----	-------	-----	-------

- 地区民児協活動推進費交付金 市内6地区民児協に各20万円交付した。
- 民生委員児童委員協議会出席旅費交付金

5 民生委員児童委員活動経費

章	1	節	3	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	7,528	決算額	7,528
-----	-------	-----	-------

市内各地区の民生委員児童委員の活動を推進した。

活 動 状 況 等	H19年度	H18年度	H17年度
介護保険、在宅福祉、家庭関係等の相談支援	10,774 件	10,660 件	10,317 件
各種調査、友愛訪問、安否確認訪問等	13,264 件	14,170 件	14,819 件
年度末民生委員児童委員数	130 人	129 人	129 人

6 社会を明るくする運動登別地区実施委員会負担金

章	2	節	3	施策	5
---	---	---	---	----	---

予算額	180	決算額	180
-----	-----	-----	-----

青少年の非行防止と罪を犯した人たちの更正と理解を深めるための啓発を行った。

- 事業内容 社明及び交通安全運動啓発(7月11日)
 ※街頭パレードは雨天中止となり、体育館でセレモニーを行う。
 公開ケース研究会(11月22日)
 地域住民との懇談会及びビデオ上映会等

7 国民健康保険特別会計繰出金

予算額	510,600	決算額	498,904
-----	---------	-----	---------

次のとおり繰出し方針を定め、一般会計から繰出しを行った。

- ①昭和63年度から国民健康保険基盤安定対策費負担金について制度が設けられ、国と地方の負担割合が明確化されたことに基づき繰出額を決定。
- ②国保財政安定化支援事業分を繰出しの対象とする。
- ③人件費、事務費分を繰出し対象とする
- ④出産一時金一般財源化分を繰出し対象とする。
- ⑤保険税申請減免分を予算積算額を限度として繰出しの対象とする。

区 分	当初予算	決算
保険基盤安定保険税軽減分	228,382 千円	200,902 千円
保険基盤安定保険者支援分	45,502 千円	41,628 千円
国保財政安定化支援事業分	139,800 千円	142,470 千円
人件費・事務費・出産育児一時金分	124,398 千円	110,256 千円
保険税申請減免分	5,000 千円	3,648 千円
計	543,082 千円	498,904 千円

8 福祉灯油事業費

章	1	節	3	施策	4
---	---	---	---	----	---

予算額	6,705	決算額	6,700
-----	-------	-----	-------

灯油価格高騰による市民税非課税世帯の負担軽減を図るため、冬期間の灯油購入費の一部として1世帯5,000円を助成した。

・世帯区分別助成件数

①満75歳以上の単身世帯	730件
②満75歳以上の方と、満65歳以上の方だけの世帯	159件
③療育手帳A判定の方が、世帯主であるか同居している世帯	6件
④身体障害者手帳1級または2級の方が、世帯主であるか同居している世帯	170件
⑤精神障害者保健福祉手帳1級の方が、世帯主であるか同居している世帯	3件
⑥18歳以下の児童を扶養する母子世帯等	272件

9 連合町内会助成金

章	6	節	1	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	2,400	決算額	2,400
-----	-------	-----	-------

各町内会の連絡調整を行い、住民福祉、まちづくりの推進を目的として活動している連合町内会へ助成した。

10 道南ブロック町内会活動研究大会助成金

章	6	節	1	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	250	決算額	250
-----	-----	-----	-----

市内で開催された平成19年度道南ブロック町内会活動研究大会に係る運営を支援した。又は補修する費用の一部を助成した。

開催日 平成19年10月25～26日

内容 「安心・安全なまちづくりを目指して」をテーマに活動の情報交換を行った。

参加人数 道南1区7市15町より220名参加

11 町内会運営助成金

章	6	節	1	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	27,615	決算額	27,456
-----	--------	-----	--------

町内会活動、防犯灯の電気料に対して助成した。

助成団体数

94町内会

1連合町内会

項目	平成19年度	平成18年度	平成17年度
団体割	2,820,000 円	2,910,000 円	2,880,000 円
世帯割	5,644,800 円	5,714,100 円	5,770,500 円
防犯灯割	18,426,100 円	16,964,500 円	16,655,100 円
会館割	565,000 円	574,200 円	5,771,900 円

12 防犯灯設置事業補助金

章	2	節	3	施策	5
---	---	---	---	----	---

予算額	4,413	決算額	4,203
-----	-------	-----	-------

犯罪の未然防止、安心して暮らせるまちづくりのため、各町内会が防犯灯を新しく設置又は補修する費用の一部を助成した。

補助金交付町内会数 50町内会、1連合町内会

補助対象防犯灯数 158基(新設22基、補修136基)

13 室蘭登別防犯協会連合会助成金

章	2	節	3	施策	5
---	---	---	---	----	---

予算額	650	決算額	650
-----	-----	-----	-----

市民の防犯思想を高揚し、犯罪や事故のない明るい社会をつくるため、自主防犯体制の確立を目的に活動している連合会に対して助成した。

事業内容 防犯対策の調査研究
防犯施設の拡充強化
防犯思想の普及徹底
地域、職域、防犯団体等で行う防犯活動の協力援助
警察の行う防犯活動に対する協力援助
青少年の非行防止及び健全育成
防犯功労者・団体の表彰
関係機関、団体との相互連絡協力 等

14 暴力追放運動推進団体連絡協議会助成金

章	2	節	3	施策	5
---	---	---	---	----	---

予算額	500	決算額	500
-----	-----	-----	-----

暴力排除の啓発や暴力追放運動等の推進を図り、明るく犯罪のない住みよい地域をつくることを目的に活動している協議会に対して助成した。

事業内容 幌別地区の手づくり祭り
暴力追放巡回街頭啓発
暴力追放啓発回覧板と啓発旗の作成及び配付

15 民生委員児童委員協議会補助金

章	1	節	3	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	2,826	決算額	2,826
-----	-------	-----	-------

市内各地区民児協との相互連携、活動の充実及び民生委員児童委員の連携と交流を図るため、民生委員児童委員協議会に対し補助した。

16 登別地区保護司会補助金

章	2	節	3	施策	5
---	---	---	---	----	---

予算額	250	決算額	250
-----	-----	-----	-----

登別地区保護司会に補助することにより、保護司活動の充実と連携並びに研修等の充実を図った。

事業内容 覚せい剤乱用防止啓発、「社会を明るくする運動」の街頭
パレード・ビデオ上映会及び懇談会、公開ケース研究会
更生に関する相談等

17 地域福祉活動促進事業補助金

章	1	節	3	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	14,589	決算額	14,589
-----	--------	-----	--------

社会福祉協議会の地域福祉活動事業に対し補助することにより、在宅福祉の向上など地域福祉活動の推進を図った。

地域福祉事業、ボランティアセンター事業、在宅福祉運営事業

- 18 社会福祉事業推進補助金
- | | | | | | |
|---|---|---|---|----|---|
| 章 | 1 | 節 | 3 | 施策 | 1 |
|---|---|---|---|----|---|
- | | | | |
|-----|--------|-----|--------|
| 予算額 | 10,638 | 決算額 | 10,638 |
|-----|--------|-----|--------|
- 社会福祉協議会の事業拡充と福祉活動専門員の設置により、ボランティア団体の活動や指導育成等を行った。
- 19 連合遺族会補助金
- | | | | | | |
|---|---|---|---|----|---|
| 章 | 6 | 節 | 9 | 施策 | 0 |
|---|---|---|---|----|---|
- | | | | |
|-----|----|-----|----|
| 予算額 | 50 | 決算額 | 50 |
|-----|----|-----|----|
- 会の運営と遺族の福祉向上に寄与するため助成した。
- 20 日胆はまなす里親会補助金
- | | | | | | |
|---|---|---|---|----|---|
| 章 | 1 | 節 | 1 | 施策 | 1 |
|---|---|---|---|----|---|
- | | | | |
|-----|----|-----|----|
| 予算額 | 30 | 決算額 | 30 |
|-----|----|-----|----|
- 里親会を支援し、児童福祉の向上を図った。
- 21 アイヌ文化普及啓発事業補助金
- | | | | | | |
|---|---|---|---|----|---|
| 章 | 5 | 節 | 3 | 施策 | 2 |
|---|---|---|---|----|---|
- | | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 予算額 | 200 | 決算額 | 200 |
|-----|-----|-----|-----|
- アイヌ民族の社会的地位の向上と文化保存伝承のための活動を行う北海道ウタリ協会登別支部に対し補助した。
- 事業内容 アイヌ語教室、トマ(ござ)編み教室の開催、アイヌ文化祭への参加等
- 22 アイヌ文化講座経費
- | | | | | | |
|---|---|---|---|----|---|
| 章 | 5 | 節 | 3 | 施策 | 2 |
|---|---|---|---|----|---|
- | | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 予算額 | 296 | 決算額 | 296 |
|-----|-----|-----|-----|
- アイヌ民族文化の伝承及び普及を図った。
- 活動内容 トマ(ござ)編み教室 10回開催 受講者 延160人
- 23 第20回アイヌ民族文化祭補助金
- | | | | | | |
|---|---|---|---|----|---|
| 章 | 5 | 節 | 3 | 施策 | 2 |
|---|---|---|---|----|---|
- | | | | |
|-----|----|-----|----|
| 予算額 | 30 | 決算額 | 30 |
|-----|----|-----|----|
- アイヌ民族文化の保存伝承を目的に開催されるアイヌ民族文化祭を支援した。
- 開催日 平成19年11月17日
- 開催場所 白糠町
- 内 容 アイヌ古典舞踊、アイヌ語劇、民芸品展示等
- 24 生活交通路線維持対策事業費補助金
- | | | | | | |
|---|---|---|---|----|---|
| 章 | 4 | 節 | 3 | 施策 | 1 |
|---|---|---|---|----|---|
- | | | | |
|-----|-------|-----|-------|
| 予算額 | 4,784 | 決算額 | 4,784 |
|-----|-------|-----|-------|
- 市民生活に必要なバス路線の維持のためバス会社を支援することにより、市民の交通手段の確保に努めた。
- 補助路線数 9路線
- 自家用車の普及による輸送人員の減少のため市民の生活に必要なバス路線の維持が困難となっている現状を鑑み、国及び北海道と適切な役割分担を図りながら、乗合バス事業者に対して補助金を交付し、市民の足を確保し、福祉の向上を図る必要がある。

目2 障害者福祉費

章	1	節	3	施策	3
---	---	---	---	----	---

主要データ

① 身体障害者手帳保持者数の推移（各年3月末現在）

	平成19年	平成18年	平成17年
1級	758 人	525 人	466 人
2級	478 人	466 人	435 人
3級	400 人	357 人	332 人
4級	631 人	508 人	469 人
5級	213 人	154 人	149 人
6級	176 人	129 人	127 人
計	2,656 人	2,139 人	1,978 人

② 療育手帳保持者数の推移

	平成19年	平成18年	平成17年
A	124 人	126 人	126 人
B	194 人	178 人	178 人
計	318 人	304 人	304 人

③ 障害者手帳保持者(精神)数の推移

	平成19年	平成18年	平成17年
1級	71 人	52 人	59 人
2級	147 人	130 人	114 人
3級	22 人	27 人	22 人
計	240 人	209 人	195 人

1 障害者福祉関係事務費

予算額	8,468	決算額	8,076
-----	-------	-----	-------

自立支援費システムリース料・改修委託料等事務費

2 障害認定審査会経費

予算額	1,883	決算額	1,183
-----	-------	-----	-------

・委員数 10名

・開催回数 11回

・主治医意見書作成件数 67件

3 介護給付費・訓練等給付費

予算額	482,979	決算額	478,691
-----	---------	-----	---------

障害者自立支援法による障害福祉サービスに係る介護給付費・訓練等給付費及び国の緊急措置で実施した自立支援激変緩和措置経費を支給した。

サービス種類		児童	者	計
訪問系サービス	居宅介護	3	60	63
	重度訪問介護		1	1
	行動援護	1	1	2
	計	4	62	66
日中活動系サービス	生活介護		20	20
	機能訓練		3	3
	就労移行支援		6	6
	就労継続支援(A型)		6	6
	就労継続支援(B型)		16	16
	児童デイサービス	50		50
	計	50	51	101
短期入所		26	9	35
居住系サービス	共同生活介護(ケアホーム)		29	29
	共同生活援助(グループホーム)		30	30
	施設入所支援		6	6
	計		65	65
旧体系サービス(入所系)	身障入所更生施設		13	13
	身障入所療護施設		13	13
	身障入所授産施設		4	4
	知的入所更生施設		56	56
	知的入所授産施設		15	15
	知的通勤寮		3	3
	計		104	104
旧体系サービス(通所系)	身障通所更生施設		7	7
	知的通所更生施設		5	5
	知的通所授産施設		26	26
	計		38	38

4 自立支援医療費

予算額	51,101	決算額	47,856
-----	--------	-----	--------

自立支援医療(更生医療)に係る医療費を支給することにより、障がい者の自立を助長した。

区分	当初予算	決算
給付人員	80人	131人

5 障害者補装具給付費

予算額	25,438	決算額	21,912
-----	--------	-----	--------

障がい者・児に対し、日常生活上の便宜を図るための補装具の交付や修理を行った。

給付件数	平成19年度	平成18年度	平成17年度
障がい者	173 件	515 件	823 件
障がい児	61 件	87 件	99 件
計	234 件	602 件	922 件

6 高額障害者福祉サービス経費

予算額	300	決算額	108
-----	-----	-----	-----

障害者自立支援サービスに伴う利用者負担が、世帯上限額を超えた場合、超えた金額を償還することにより、経済的負担の軽減を図った。

7 地域生活支援事業費

(1) 日常生活用具給付費

予算額	14,616	決算額	10,356
-----	--------	-----	--------

在宅の重度障がい者(児)の求めに応じ、日常生活用具を給付した。

給付件数 1,022件

(2) 障害者自立更生促進助成事業費

予算額	510	決算額	200
-----	-----	-----	-----

身体障がい者の自動車運転免許取得及び自動車改造並びに盲導犬取得に要する経費を助成し、障がい者の社会参加と自立を図った。

自動車改造 2件

(3) 総合相談支援事業費

予算額	15,197	決算額	14,907
-----	--------	-----	--------

①相談支援事業委託料

障がい者等の相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の福祉サービスの利用支援などを行うとともに、虐待の防止及びその早期発見のために関係各機関との調整、その他障がい者等の権利擁護のために必要な相談支援を実施した。24時間、三障害(身体、知的、精神)に対応できる西いぶり地域生活支援センターに委託して実施した。相談件数 1,214件(面接・訪問455件、電話759件)

②地域自立支援協議会経費

中立・公平な相談支援事業の実施や地域関係機関との連携強化等のために設置し、自立支援事業に係る不服審査申立にも対応することとした。

委員 10名 開催回数 2回

(4) コミュニケーション支援事業費

予算額	293	決算額	103
-----	-----	-----	-----

聴覚・言語機能、音声機能障害等により、意思疎通を図ることに支障のある障がい者その他の者との仲介を図るため、その求めに応じ、手話通訳者の派遣を行った。

委託先 北海道ろうあ連盟

利用者数 4人 利用回数 16回

(5) 移動支援事業費

予算額	2,161	決算額	1,213
-----	-------	-----	-------

屋外での移動が困難な障がい者が、社会生活上不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加のために外出する際の移動の支援を行った。

利用人数(個別) 29人 利用人数(グループ) 1グループ

(6) 地域活動支援センター事業費	予算額	20,308	決算額	20,308
-------------------	-----	--------	-----	--------

①地域活動支援センター運営委託

障がい者のデイサービス(送迎移送、食事提供、入浴サービス、機能訓練、社会適応訓練)を登別市社会福祉協議会に委託して実施した。

②地域活動支援センター事業送迎委託

③革工房瑞樹の運営費の助成

(7) 訪問入浴サービス事業費	予算額	581	決算額	349
-----------------	-----	-----	-----	-----

身体障がい者の居宅を訪問し、浴槽を提供して入浴サービスを行った。

委託先 ハッピー室蘭

利用者数 1人 利用回数 31回

(8) 更生訓練費・施設入所者就職支度金給付費	予算額	438	決算額	401
-------------------------	-----	-----	-----	-----

身体障害者福祉法に基づく更生訓練及び施設入所者就職支度金給付制度が移行された事業であり、継続して実施した。

・更生訓練利用者数 15人

・就職支度金給付者数 0人

(9) 社会参加事業費	予算額	324	決算額	324
-------------	-----	-----	-----	-----

①点字広報作成経費

②声の広報作成経費

(10) 日中一時支援事業費	予算額	1,472	決算額	1,112
----------------	-----	-------	-----	-------

障がい者・児の日帰りショートステイ及び障がい児の放課後及び長期休暇等における預かりを実施した。利用者数 12人 利用延回数 390回

①日帰りショートステイ事業

②障がい児タイムケア事業

(11) 社会参加等事業補助金	予算額	439	決算額	439
-----------------	-----	-----	-----	-----

障がい者等の社会参加を促進するため、手話通訳者の養成、スポーツ・レクリエーション指導員の養成に係る経費の助成を行うとともに、障がい者等の団体のボランティア活動の支援を行った。

・スポーツ・レクリエーション指導員養成助成 2人

・手話通訳者養成助成 1人

・障がい者団体ボランティア活動支援 登別回復者クラブ「ひまわりサークル」
活動費助成

8 特別障害者手当等支給経費

予算額	30,029	決算額	28,429
-----	--------	-----	--------

重度の障がい者で特別の介護を必要とする者(児)に対して、経済的負担を軽減するため手当を支給した。

延支給人数	H19年度	H18年度	H17年度
特別障害者手当	707 人	692 人	736 人
障害児福祉手当	563 人	515 人	511 人
福祉手当	108 人	133 人	159 人
計	1,378 人	1,340 人	1,406 人
支給額合計	28,343 千円	27,630 千円	29,187 千円

9 重度身体障害児介護手当支給経費

予算額	7,440	決算額	7,420
-----	-------	-----	-------

精神又は身体に障がいのある児童の保護者に対して、経済的負担を軽減するため、手当を支給し福祉の増進を図った。

(支給月額:20歳未満の児童1人当たり1万円)

区分	H19年度	H18年度	H17年度
支給延人員	742 人	764 人	780 人

10 重度障害者(児)福祉タクシー関係経費

予算額	6,851	決算額	5,215
-----	-------	-----	-------

日常生活において公共交通機関を利用することが困難な重度の障害者(児)に対し、経済的負担の軽減を図るため、タクシーを利用する場合の料金の一部を助成した。

助成内容 タクシー基本料金

区分	H19年度	H18年度	H17年度
助成件数	622 件	625 件	631 件

11 身体障害者自動車燃料費助成金

予算額	434	決算額	383
-----	-----	-----	-----

身体障がい者の社会参加を図るとともに、経済的負担を軽減するため、自動車の燃料費の一部を助成した。

区分	H19年度	H18年度	H17年度
助成件数	25 件	25 件	25 件

12 障害者等生活支援経費

予算額	126	決算額	106
-----	-----	-----	-----

重度心身障害者在宅世帯及び寝たきり老人在宅世帯に対し、指定ごみ袋及びし尿処理無料券を交付し、経済的負担の軽減を図った。

区分	H19年度	H18年度	H17年度
指定ごみ袋交付件数	654 件	586 件	468 件
し尿処理無料券交付件数	143 件	142 件	128 件

13 手をつなぐ育成会補助金

予算額	100	決算額	100
-----	-----	-----	-----

心身に障がいのある者(児)の療育と福祉の増進を図るため、登別市手をつなぐ育成会(会員数35人)に補助した。

- 14 視力障害者協会補助金

予算額	50	決算額	50
-----	----	-----	----

視力障がい者の自立更生並びに福祉の増進のため、登別視力障害者協会(会員数17人)に補助した。
- 15 身体障害者福祉協会補助金

予算額	460	決算額	460
-----	-----	-----	-----

身体障がい者が文化・スポーツ等を通して相互交流を行い、社会参加と自立を促す活動を行う福祉協会(会員数135人)に補助した。
- 16 肢体不自由児(者)父母の会補助金

予算額	200	決算額	200
-----	-----	-----	-----

肢体不自由児の療育と福祉の増進を目的に活動する父母の会(会員数14人)に対して助成した。
- 17 障害者ホームヘルプサービス低所得者利用者負担軽減措置経費

予算額	795	決算額	632
-----	-----	-----	-----

障害者施策等によりホームヘルプサービスを利用している者が65歳に達し、介護保険適用となった場合、所得税非課税世帯に属する者が、継続して利用できるよう、利用者負担の軽減を図った。本来、介護保険制度では、利用者負担は1割となるがこれを軽減した。
- 18 小規模通所授産施設(すずかけ作業所)運営経費

予算額	562	決算額	468
-----	-----	-----	-----

社会人としての自立を図るため、学齢を超えた就業困難な心身障がい者を授産施設に通所させ、作業及び生活の訓練を行った。
利用人員 8人
- 19 精神障害者社会復帰施設通所交通費助成金

予算額	208	決算額	165
-----	-----	-----	-----

精神障がい者が通所授産施設及び地域共同作業所に通所する場合に要する交通費の一部を助成し、費用負担の軽減を図った。
通所授産施設ピアチェーレ 10人
西胆振地域生活支援センター 7人
- 20 精神障害者通所授産施設運営費補助金

予算額	1,266	決算額	1,266
-----	-------	-----	-------

市内にある精神障害者通所授産施設の運営費の一部を補助した。
対象:精神障害者授産施設運営団体(医療法人社団千寿会)
- 21 第26回全道肢体不自由児者福祉大会補助金

予算額	500	決算額	500
-----	-----	-----	-----

開催日 10月13日・14日 参加者数 330人

目3 医療助成費

1 乳幼児医療費助成経費

章	1	節	1	施策	1	予算額	83,615	決算額	78,444
---	---	---	---	----	---	-----	--------	-----	--------

医療費の一部を助成し、乳幼児の健康増進と健やかな育成に努めた。

区 分	H19予算	H19決算	H18年度	H17年度
受 診 件 数	42,873 件	37,719 件	40,904 件	39,172 件
月平均受給者数	2,800 人	2,350 人	2,381 人	2,335 人
医療助成費	74,470 千円	70,548 千円	81,300 千円	76,209 千円
1人当り医療助成費	26,596 円	30,020 円	34,145 円	32,637 円

2 重度心身障害者医療費助成経費

章	1	節	3	施策	3	予算額	164,103	決算額	146,169
---	---	---	---	----	---	-----	---------	-----	---------

重度心身障がい者の経済的負担を軽減するため、医療費の一部を助成した。

区 分	H19予算	H19決算	H18年度	H17年度
受 診 件 数	24,479 件	21,881 件	22,389 件	21,895 件
月平均受給者数	1,300 人	1,298 人	1,274 人	1,240 人
医療助成費	156,646 千円	139,585 千円	168,243 千円	171,133 千円
1人当り医療助成費	120,496 円	107,538 円	132,059 円	138,010 円

3 ひとり親家庭等医療費助成経費

章	1	節	1	施策	1	予算額	31,197	決算額	28,882
---	---	---	---	----	---	-----	--------	-----	--------

ひとり親家庭等の母子または父子に対し、経済的負担を軽減するため、医療費の一部を助成した。

区 分	H19予算	H19決算	H18年度	H17年度
受 診 件 数	11,905 件	9,752 件	10,867 件	10,823 件
月平均受給者数	1,720 人	1,654 人	1,668 人	1,690 人
医療助成費	27,609 千円	25,861 千円	29,809 千円	31,044 千円
1人当り医療助成費	16,051 円	15,635 円	17,871 円	18,369 円

目7 消費生活費

主要データ

① 消費生活相談件数の推移 (単位:件)

区 分	総数	価格料金	表示広告	販売方法	契約解除	接客対応	その他
平成19年度	472	53	29	156	196	7	31
平成18年度	678	80	33	271	264	13	17
平成17年度	702	55	32	278	298	23	16

章	2	節	3	施策	4
---	---	---	---	----	---

1 消費者行政推進経費 | | | | | |-----|-----|-----|-----| | 予算額 | 289 | 決算額 | 289 | |-----|-----|-----|-----|

消費生活の安定と向上を図るため、各種の情報収集に努めるとともに、消費活動に関する苦情や問い合わせ等に対し、助言・情報提供・斡旋解決等の処理を行った。

事業内容 ・消費生活相談受付業務(受付件数261件) ・物価調査業務(月1回、35品目)
 ・商品試買量目調査業務(年2回、調査店舗8店舗、23品目)

2 消費生活モニター関係経費 | | | | | |-----|-----|-----|-----| | 予算額 | 260 | 決算額 | 151 | |-----|-----|-----|-----|

消費生活モニターによる毎月の価格動向調査を実施した。

毎月10日調査 調査品目 35品目

3 消費者協会運営助成金 | | | | | |-----|-----|-----|-----| | 予算額 | 185 | 決算額 | 185 | |-----|-----|-----|-----|

消費生活に関する情報提供、消費生活相談など消費生活の向上、消費者保護を目的とした活動を行っている協会に対して助成した。

事業内容

登別消費者大会の開催、地元商店会との懇談会、くらしの総合講座、
 特別栽培米生産者との懇談会、消費生活リーダー研修会への参加
 家庭用灯油・LPガス・ガソリン等の価格調査、「消費者の日」に係る啓発運動
 消費生活相談講座(高校生・高齢者・町内会)、北海道・胆振消費者大会への参画

4 消費生活展開催補助金 | | | | | |-----|-----|-----|-----| | 予算額 | 300 | 決算額 | 300 | |-----|-----|-----|-----|

商品の安全性やリサイクルなどを実演や展示で紹介し、正しい知識の普及や啓発を図る消費生活展の開催を支援した。

10月18日・19日、市民会館で開催(参加人数300人)

項2 高齢者福祉費

章	1	節	3	施策	2
---	---	---	---	----	---

主要データ

① 高齢者人口及び高齢化率の推移

区 分	平成17年	平成12年	平成7年	平成2年
人 口	53,135 人	54,761 人	56,892 人	55,571 人
うち高齢者人口	13,095 人	11,097 人	9,149 人	7,293 人
高齢化率	登別市	24.6 %	20.3 %	16.1 %
	北海道	21.4 %	18.2 %	14.8 %
	全 国	20.1 %	17.3 %	14.5 %

※国勢調査人口数値

目1 高齢者福祉総務費

1 老人趣味の作業所運営等経費

予算額	301	決算額	245
-----	-----	-----	-----

高齢者の創造性を高め、老後の生きがいを豊かにし、もって高齢者福祉の増進を図るため、老人趣味の作業所を開設して活動の場を提供した。

2 生きがい対策事業補助金

予算額	200	決算額	100
-----	-----	-----	-----

高齢者の社会参加を促進し生きがいを見出すため、老人クラブ連合会が行う対策事業に対して補助を行った。

主な事業 女性リーダー・ボランティアリーダー研修会への参加
ゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会の開催

3 老人クラブ連合会補助金

予算額	1,000	決算額	1,000
-----	-------	-----	-------

老人クラブ連合会が行う高齢者相互支援事業や社会奉仕活動事業、交通安全運動、防災対策運動等へ補助した。

主な活動内容 親睦会、スポーツ振興、女性部研修会、
受託事業(移送サービス、電話サービス)等

4 老人クラブ補助金

予算額	3,806	決算額	3,360
-----	-------	-----	-------

単位老人クラブの活動経費を助成した。

45団体 2,839人分

5 敬老会補助金

予算額	8,215	決算額	8,215
-----	-------	-----	-------

町内会等が主催する敬老行事等に係る経費の一部を補助し、敬老意識の醸成と老人福祉の増進を図った。

補助対象人員 8,577人(71歳以上の市民) 補助実績人員 8,215人

- 6 老人保健特別会計繰出金

予算額	542,819	決算額	523,576
-----	---------	-----	---------

 審査支払手数料を除く事務費から国庫補助金(事務費補助金)を控除した全額、総医療費の決算見込額から支払基金交付金、国・道医療費負担金を控除した経費及び前年度繰上充用金から過年度収入に交付金等還付金を相殺した残額を繰出対象として繰出額を決定し、一般会計から繰出しを行った。
- 7 介護保険特別会計繰出金

予算額	428,491	決算額	409,449
-----	---------	-----	---------

 介護費用における市負担分(公費負担のうち12.5%(給付費、予防事業)、20.25%(包括的支援事業、任意事業))及び介護認定審査に係る費用、その他一般管理費等事務費の一般財源相当額を繰出額とし、一般会計から繰出しを行った。
- 8 特別養護老人ホーム増築事業資金借入金元利補給金

予算額	23,184	決算額	23,184
-----	--------	-----	--------

 特別養護老人ホーム緑風園増築事業に係る資金借入金に対する元利補給を行った。
 期間 平成10年度～平成29年度
- 9 老人憩の家整備委託料

予算額	8,000	決算額	7,987
-----	-------	-----	-------

 老朽化等により屋根や壁などの整備が必要な老人憩の家について、町内会等に委託し整備した。 整備件数 10 施設
- 10 地域総合整備資金貸付金(千寿会)

予算額	40,000	決算額	40,000
-----	--------	-----	--------

 高齢社会に対応する基盤整備を推進するため、医療法人社団千寿会が実施する老人保健施設増築事業に係る経費の一部として地域総合整備資金を貸付した。
- 11 地域総合整備資金貸付金(三樹)

予算額	88,000	決算額	88,000
-----	--------	-----	--------

 高齢社会に対応する基盤整備を推進するため、株式会社三樹が実施する有料老人ホーム建設事業に係る経費の一部として地域総合整備資金を貸付した。
- 12 北海道後期高齢者医療広域連合負担金

予算額	13,165	決算額	13,165
-----	--------	-----	--------

 後期高齢者医療制度を運営する北海道後期高齢者医療広域連合への共通経費を負担した。
 共通経費の負担割合:均等割10%、高齢者人口割40%、人口割50%

目2 高齢者保健福祉費

1 老人措置関係経費

措置関係経費

予算額	13,163	決算額	12,430
-----	--------	-----	--------

老人福祉法に基づき、他市町村の施設に入所している登別市民の要援護老人に係る措置費を負担した。

区分	H19年度	H18年度	H17年度
措置人員	7人	6人	7人
措置費	12,430千円	15,132千円	16,020千円

2 在宅高齢者保健福祉推進支援経費

(1) 高齢者等緊急通報機器設置

予算額	9,273	決算額	8,783
-----	-------	-----	-------

○在宅のひとり暮らし高齢者等に、緊急通報機器を貸与し、急病、災害等の緊急事態が発生したとき迅速かつ正確な救援活動ができる体制を整備する。

区 分	H19年度	H18年度	H17年度
年度末設置台数	190台	203台	235台
決 算 額	8,614千円	8,981千円	8,352千円

○事務費 170千円

(2) 布団乾燥・電話・移送サービス

予算額	1,210	決算額	1,122
-----	-------	-----	-------

寝たきり高齢者及びひとり暮らしの高齢者等に対し、安否確認の電話サービスを行うとともに、老人福祉センターを利用する高齢者に対し、送迎用バスによる移送サービスを提供した。なお、布団洗濯乾燥サービスは、平成18年度をもって廃止した。

区 分	H19年度	H18年度	H17年度
布団乾燥サービス	1件	0件	0件
電話サービス	延1,044件	延1,214件	延879件
移送サービス	延2,526件	延2,418件	延2,508件

3 外国人高齢者・障害者福祉給付金

予算額	360	決算額	240
-----	-----	-----	-----

在日外国人高齢者・障がい者で無年金者に福祉給付金を支給した。

支給者数 高齢者分 2名

4 社会福祉法人利用者負担軽減助成金

予算額	98	決算額	6
-----	----	-----	---

低所得者で特に生計が困難である人について、介護サービスの提供をする社会福祉法人等が利用者負担を軽減することにより、介護保険サービスの利用促進を図るため助成した。

助成実績 1法人

目3 医療助成費

1 老人医療費助成経費(道老分)

予算額	38,681	決算額	33,897
-----	--------	-----	--------

医療費の一部を助成し、高齢者の医療費負担の軽減を図った。

区 分	H19予算	H19決算	H18年度	H17年度
受 診 件 数	12,235 件	11,325 件	17,777 件	23,936 件
月 平 均 受 給 者 数	500 人	342 人	594 人	883 人
医 療 助 成 費	35,087 千円	30,601 千円	50,084 千円	67,189 千円
1人当り医療助成費	70,174 円	89,476 円	84,316 円	77,185 円

目5 恵寿園事業費

1 養護老人ホーム恵寿園運営経費

事務費	予算額	6,381	決算額	5,642
事業費	予算額	47,594	決算額	42,271
参考		人件費決算額		119,775
(職員14名、嘱託員14名、臨時職員3名)				

老人福祉法の理念に基づき、家庭的で、健全で安らかな生活がおくれるよう園の運営に努めた。

年度末	平成19年度			平成18年度			平成17年度
入所者数	男	女	合計	男	女	合計	合計
登 別 市	13人	32人	45人	10人	31人	41人	41人
他 市 町 村	2人	10人	12人	5人	11人	16人	18人
合 計	15人	42人	57人	15人	42人	57人	59人

2 養護老人ホーム恵寿園敷地購入費

予算額	45,803	決算額	45,803
-----	--------	-----	--------

平成20年4月から養護老人ホーム恵寿園の運営を市内の社会福祉法人に移譲するに当たって、登別市土地開発公社が所有する同施設の敷地を購入した。

購入敷地面積 41,240.09㎡

項3 児童福祉費

主要データ

① 出生数及び児童数の推移

区 分	平成19年度	平成18年度	平成17年度	平成12年度
人口	53,472 人	53,782 人	53,971 人	55,688 人
出生数	371 人	390 人	373 人	391 人
児童数	7,907 人	8,020 人	8,111 人	9,224 人

※人口及び児童数は、住民登録に基づく9月末日現在の人数です。

※児童数は、児童福祉法に基づき、満18歳未満の人数としています。

目1 児童福祉総務費

1 子育て支援センター運営経費

章	1	節	1	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	1,270	決算額	975
-----	-------	-----	-----

育児に不安を持つ保護者が増加しており、育児相談やあそびの紹介などを通して育児不安の解消を図るとともに親子のふれあいや交流を促した。

また、子育て講座の開催や父親開放日を設け、保護者の育児力の向上を図るとともに、子育て支援センターが設置されていない若草・鷺別地区については、移動子育て支援センター事業を実施した。

区 分	平成19年度	平成18年度	平成17年度
育児相談	154 人	168 人	132 人
子育て講座	284 人	347 人	207 人
あそびの紹介	938 人	926 人	358 人
父親開放日	70 人	85 人	66 人
センター開放	10,332 人	9,327 人	6,648 人
育児サークルの育成・支援	911 人	848 人	838 人
保育所開放事業	455 人	496 人	473 人
児童用図書の貸出し	1,292 人	787 人	489 人
移動子育て支援センター事業	519 人	323 人	203 人
計	14,955 人	13,307 人	9,414 人

2 児童手当支給経費

章	1	節	1	施策	1
---	---	---	---	----	---

(1) 児童手当

予算額	335,075	決算額	335,055
-----	---------	-----	---------

小学校修了前の児童を養育している方に支給し、その家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に寄与した。

(支給月額)	3歳未満	一律10,000円		
	3歳以上	第1・2子	5,000円	第3子以降 10,000円

(総支給額)

区 分	延対象児童数	支給額
被用者第1・2子	7,719 人	70,845 千円
被用者第3子	1,054 人	10,540 千円
非被用者第1・2子	2,205 人	20,080 千円
非被用者第3子	376 人	3,760 千円
特例給付第1・2子	102 人	900 千円
特例給付第3子	0 人	0 千円
小3被用者第1・2子	27,254 人	136,270 千円
小3被用者第3子	3,216 人	32,160 千円
小3非被用者第1・2子	9,134 人	45,670 千円
小3非被用者第3子	1,483 人	14,830 千円
合 計	52,543 人	335,055 千円

(2) 支給事務経費

予算額	1,289	決算額	953
-----	-------	-----	-----

3 家庭児童相談室・母子自立支援員経費

章	1	節	1	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	55	決算額	32
-----	----	-----	----

児童のしつけや環境、施設への入所など、家庭の一般的な相談に応じるため、母子・家庭相談員兼母子自立支援員を1名配置し、福祉の増進を図った。

相談件数	H19年度	H18年度	H17年度
母子・家庭相談員	26 件	133 件	83 件
母子自立支援員	385 件	455 件	419 件

4 災害遺児手当支給経費

章	1	節	1	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	600	決算額	600
-----	-----	-----	-----

災害により、児童の父母又は父母のいずれかが死亡若しくは障がいの状態となったとき、その児童を養育している保護者に対し、手当を支給し児童の健全育成を図った。

(支給月額:児童1人当たり10,000円、中学校卒業時まで)

区 分	H19年度	H18年度	H17年度
支給件数	5 件	6 件	6 件

5 児童扶養手当及び特別児童扶養手当関係経費

章	1	節	1	施策	1
---	---	---	---	----	---

(1) 児童扶養手当

予算額	303,979	決算額	299,716
-----	---------	-----	---------

父母の離婚又は父の死亡などによって、父のいない児童を監護している母又は母に代わって児童を養育している方に手当を支給し、その母子家庭等の生活の安定と自立の促進に寄与した。

区 分	H19年度	H18年度	H17年度
受給者数	666 人	659 人	657 人
全部支給	397 人	412 人	439 人
一部支給	202 人	198 人	179 人
全部停止	67 人	49 人	39 人
対 象 児 童 数	918 人	926 人	963 人

支給月額	全部支給	一部支給(所得による)
児童1人のとき	41,720 円	41,710円～ 9,850円
児童2人のとき	46,720 円	46,710円～14,850円
児童3人以上のとき	3人目から児童1人増すごとに3,000円追加	

(2) 特別児童扶養手当認定医報酬

予算額	250	決算額	210
-----	-----	-----	-----

予算件数 50 件 実績件数 42 件

(3) 支給事務経費

予算額	385	決算額	363
-----	-----	-----	-----

6 仕事と家庭両立支援(ファミリーサポートセンター)事業費

章	1	節	1	施策	1	予算額	6,979	決算額	6,979
---	---	---	---	----	---	-----	-------	-----	-------

会員同士の相互援助事業を運営することにより、地域の有償ボランティアを活用し地域の子育て力の強化に努めた。(登別市社会福祉協議会委託事業)

会員数

区 分	H19年度	H18年度	H17年度
依頼会員	382人	349人	310人
提供会員	124人	124人	121人
両方会員	93人	87人	81人
計	599人	560人	512人

活動状況

区 分	H19年度	H18年度	H17年度
件 数	2,674件	3,383件	2,370件
活 動 時 間	4,943時間	6,515時間	6,032時間
預かり人数	411人	404人	293人

7 こどもショートステイ経費

章	1	節	1	施策	1	予算額	391	決算額	391
---	---	---	---	----	---	-----	-----	-----	-----

保護者の疾病などにより児童の養育が一時的に困難になった場合に、児童を養護施設で養育し児童の健全な育成を図った。

区 分	H19年度	H18年度	H17年度
2歳未満児	延2日間	—	延5日間
2歳以上児	延69日間	延6日間	延44日間

8 母子家庭自立支援給付事業費

章	1	節	3	施策	4
---	---	---	---	----	---

自立支援教育訓練給付金

予算額	40	決算額	13
-----	----	-----	----

母子家庭の母の職業能力を促進するため、「指定講座」を受講し職業能力開発を行う者に対して教育訓練後、自立支援教育訓練給付金を支給し、母子家庭の自立促進を図った。

区 分	H19年度	H18年度	H17年度
支給件数	1 件	2 件	1 件

9 産後子育てママ派遣事業費

予算額	765	決算額	13
-----	-----	-----	----

出産後間もない母親のいる家庭にヘルパーを派遣して、育児、家事等の便宜を提供し、安心して育児や日常生活が営めるよう支援した。

派遣延日数 3 日 委託先 いぶりたすけ愛

目2 保育所費

章	1	節	1	施策	1
---	---	---	---	----	---

1 普通保育所運営管理経費

予算額	60,672	決算額	58,556
参考	人件費決算額		334,524
(職員31名、嘱託員9名、臨時職員74名)			

共働き世帯や病人の介護などにより、家庭での保育が困難な世帯の児童に対して適切な保育サービスを提供し、児童の健やかな育成を図った。

(措置児童数の状況～各年度3月1日現在)

区分	定員	H19年度	H18年度	H17年度
富士保育所	120人	114人	108人	113人
鷺別保育所	120人	116人	113人	112人
栄町保育所	120人	112人	106人	110人
幌別東保育所	120人	94人	109人	101人
小計	480人	436人	436人	436人
登別保育所	60人	70人	74人	73人
計	540人	506人	510人	509人

2 幌別東保育所整備事業費

予算額	9,660	決算額	9,660
-----	-------	-----	-------

建築後27年が経過し、老朽化が著しいことから、床の全面改修、屋上防水補修、屋外非常階段補修などを実施し、児童の安全確保と保育環境の改善を図った。

3 登別保育所運営管理業務委託料

予算額	69,288	決算額	68,655
-----	--------	-----	--------

登別保育所の運営管理業務を「学校法人 登別立正学園」に委託した。

4 特別保育科目実施経費

予算額	1,380	決算額	1,358
-----	-------	-----	-------

(1) あそびの広場

地域の乳幼児を持つ保護者等を対象に子どもとの関わりや遊び方を指導し、育児不安の解消を図るとともに、親子のふれあいや親同士の交流を深めた。

参加者数 中央子育て支援センター 181人 登別子育て支援センター 140人

実施内容 親と子のあそび、手あそび、運動あそび、砂あそび、シャボン玉あそび等

(2) 交流事業

保育所の児童が、地域のお年寄りや異年齢児との交流を深めた。

・世代間交流事業

5保育所(富士、鷺別、栄町、登別、幌別東) 参加者 769人

・異年齢児交流事業

1保育所(幌別東) 参加者 18人

事業内容 ミニ運動会、ゲーム大会、老人福祉施設訪問、伝承あそび、クリスマス会等

5 障害児保育実施経費

予算額	283	決算額	187
-----	-----	-----	-----

心身に障がいを持つ児童や発達発育に心配のある児童を受け入れ、児童の健全な成長、発達を促すため全保育所で実施した。

保育児童数	H19年度	10人	H18年度	10人	H17年度	7人
-------	-------	-----	-------	-----	-------	----

6 延長保育実施経費

予算額	614	決算額	511
-----	-----	-----	-----

保護者の就労形態の多様化に伴う保育需要に応えるため、市内全保育所にて延長保育を実施した。

区 分	H19年度	H18年度	H17年度
富士保育所	62人	53人	50人
鷺別保育所	48人	39人	42人
栄町保育所	43人	40人	23人
幌別東保育所	50人	39人	54人
登別保育所	33人	25人	22人
計	236人	196人	191人

基本外保育時間	負担金
・午後6時15分～午後7時15分	日額 200円

7 休日保育実施経費

予算額	302	決算額	195
-----	-----	-----	-----

休日や祝祭日が勤務のため、家庭での保育が困難な保育所入所児童を対象に、富士保育所で保育を実施し、児童の健全保育に努めた。

区 分	H19年度	H18年度	H17年度
利用児童数	23人	28人	28人
延利用日数	437日	350日	246日

8 一時保育委託料

予算額	2,700	決算額	2,700
-----	-------	-----	-------

登別保育所の一時保育業務を学校法人「登別立正学園」に委託して実施した。

9 保育所広域入所委託料

予算額	2,284	決算額	1,277
-----	-------	-----	-------

市町村の境界付近に住んでいる場合や通勤途中に保育所がある場合等において、居住地以外の保育所についても選択・利用できるよう配慮し、児童及び保護者の負担軽減を図った。

委託児童数	H19年度	H18年度	H17年度
室蘭市内へ	3人	1人	3人
白老町内へ	1人	2人	0人
計	4人	3人	3人

目3 のぞみ園費

章	1	節	3	施策	3
---	---	---	---	----	---

1 のぞみ園運営管理経費

予算額	1,648	決算額	984
-----	-------	-----	-----

心身に障がいのある児童が通園し、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等を行う児童デイサービスの運営管理経費

利用児童数 43人 延利用人員 1,525人

目4 児童館費

章	1	節	1	施策	1
---	---	---	---	----	---

1 児童館・児童センター運営管理経費

予算額	9,119	決算額	8,698
-----	-------	-----	-------

遊びを通して、児童の健康増進と情操を豊かにすることを目的に、児童福祉の向上に努めた。

○利用者数

区分	平成19年度	平成18年度	平成17年度	平成16年度
登別	9,663 人	9,594 人	7,677 人	9,281 人
富浦	2,629 人	2,666 人	2,251 人	3,062 人
幌別	5,829 人	4,903 人	6,450 人	5,461 人
常盤	11,950 人	9,214 人	8,203 人	6,343 人
富士	6,233 人	7,000 人	7,258 人	8,266 人
富浜	6,163 人	5,516 人	5,151 人	4,666 人
若草	6,856 人	7,160 人	5,722 人	7,129 人
鷺別	4,587 人	4,504 人	4,148 人	4,683 人
美園	6,641 人	7,063 人	8,144 人	9,360 人
登別温泉	1,869 人	- 人	- 人	- 人
計	62,420 人	57,620 人	55,004 人	58,251 人

2 富士児童館整備事業費

予算額	1,869	決算額	1,869
-----	-------	-----	-------

建築後31年が経過し、老朽化が著しいことから、屋根の葺き替えを実施し、児童が安心して過ごせる環境を整えた。

目5 放課後児童育成費

章	1	節	1	施策	1
---	---	---	---	----	---

1 放課後児童クラブ運営経費

予算額	3,318	決算額	2,952
-----	-------	-----	-------

昼間保護者不在の家庭における小学校低学年児童等に適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を図った。

○利用者数

区分	平成19年度	平成18年度	平成17年度	平成16年度
若草	42 人	37 人	22 人	4 人
富岸	45 人	45 人	35 人	34 人
常盤	27 人	17 人	19 人	15 人
青葉	12 人	9 人	3 人	— 人
幌別西	19 人	13 人	— 人	— 人
計	145 人	121 人	79 人	53 人

※各年度3月31日現在の利用者数

項4 生活保護費

目2 扶助費

1 生活保護扶助費

予算額	1,785,003	決算額	1,720,133
-----	-----------	-----	-----------

生活に困窮する市民に対し、必要な保護を行い、その最低限の生活を保護するとともにその自立の助長を図った。

(1) 生活保護相談件数及び申請受理件数

区分	相談件数	申請件数	却下件数	取下件数
平成19年度	157	58	1	1
平成18年度	204	38	0	1
平成17年度	167	38	1	1

(2) 開始世帯状況

区分	総数	世帯類型				開始理由				
		高齢	母子	傷病障害	その他	世帯主の傷病	世帯主の障害	死別離別	収入の減	その他
平成19年度	56	15	6	30	5	30	0	7	2	17
平成18年度	37	16	5	13	3	20	0	0	2	15
平成17年度	36	9	12	11	4	16	0	2	2	16

(3) 廃止世帯状況

区分	総数	世帯類型				廃止理由				
		高齢	母子	傷病障害	その他	傷病治癒	死亡失踪	就労収入増	不就労収入増	その他
平成19年度	53	23	6	20	4	0	26	4	7	16
平成18年度	53	21	16	15	1	1	22	8	4	18
平成17年度	62	20	12	21	9	0	16	16	6	24

(4) 世帯数及び人員

区分	平成19年度	平成18年度	平成17年度	H19-H18	H18-H17
被保護世帯数	7,361	7,409	7,664	△48	△255
被保護人員	10,432	10,897	11,691	△465	△794

- 被保護世帯数 月別保護世帯数の合計
- 被保護人員 月別保護人員の合計

(5) 保護率

区分	平成19年度	平成18年度	平成17年度	平成16年度	平成15年度
登別市	16.3	16.4	17.7	18.7	19.1
全道		24.5	19.6	20.6	23.1
全国		12.0	11.8	11.4	10.9

- 保護率の説明 $\text{保護率} = \frac{\text{保護人員}}{\text{年度末人口}} \times 100 (\text{パーセント})$
人口1,000人に対する割合

(6) 扶助別延人員

区分	平成19年度	平成18年度	平成17年度	H19-H18	H18-H17
生活扶助	8,794	9,268	10,014	△474	△746
住宅扶助	8,328	8,784	9,403	△456	△619
教育扶助	829	1,066	1,251	△237	△185
介護扶助	694	710	731	△16	△21
医療扶助	8,696	9,284	10,287	△588	△1,003
生業扶助	263	321	386	△58	△65
出産扶助	0	1	1	△1	0
葬祭扶助	15	10	8	5	2
施設事務費	12	23	36	△11	△13
冬季薪炭費	2,377	2,377	1,973	0	404
計	30,008	31,844	34,090	△1,836	△2,246

※ 冬季薪炭費は延べ世帯数

(7) 扶助別決算額

(単位:千円)

区分	平成19年度	平成18年度	平成17年度	H19-H18	H18-H17
生活扶助	497,343	514,128	548,124	△ 16,785	△ 33,996
住宅扶助	124,010	123,346	126,958	664	△ 3,612
教育扶助	6,252	8,375	9,608	△ 2,123	△ 1,233
介護扶助	12,567	12,106	9,632	461	2,474
医療扶助	1,068,866	1,043,353	1,201,026	25,513	△ 157,673
生業扶助	6,471	6,458	5,521	13	937
出産扶助	0	287	270	△ 287	17
葬祭扶助	2,512	1,798	1,201	714	597
施設事務費	1,835	3,546	5,673	△ 1,711	△ 2,127
冬季薪炭費	277	279	292	△ 2	△ 13
計	1,720,133	1,713,676	1,908,305	6,457	△ 194,629

項5 交通安全費

主要データ

① 交通事故数及び被害者数の推移

区 分	平成19年	平成18年	平成17年	平成12年
交通事故数	215 件	238 件	221 件	277 件
死亡者数	3 人	4 人	1 人	8 人
傷 害 者 数	287 人	319 人	282 人	365 人

目1 交通安全総務費

章	2	節	3	施策	3
---	---	---	---	----	---

1 交通安全推進経費

予算額	1,860	決算額	1,643
-----	-------	-----	-------

交通ルールの周知や交通マナーの向上など、交通安全思想の普及を図り、交通事故防止に努めた。

事業内容 ・交通安全啓発運動の推進 ・交通安全教育の推進
 ・交通安全啓発看板、旗の設置及び維持管理等

2 交通傷害保険料

予算額	2,400	決算額	1,617
-----	-------	-----	-------

交通事故の傷害による市民の経済的負担の軽減と交通安全意識の高揚を図るため実施した。

加入者数 2,395人 保険金受給件数 10件

3 交通安全協会交付金

予算額	4,300	決算額	4,300
-----	-------	-----	-------

交通事故の防止及び交通安全思想の普及を図るため、交通安全運動の推進や主要通学路における交通指導、各種イベントでの交通指導等を実施する協会に対して交付した。

事業内容 ・各期別の交通安全運動期間中における各種啓発事業の実施
 ・交通安全教室の開催(幼稚園、小学校、町内会、老人クラブ等)
 ・主要通学路での交通指導の実施
 ・各種イベントにおける交通安全指導の実施など

目2 交通安全施設費

章	2	節	3	施策	3
---	---	---	---	----	---

1 照明灯設置事業費

予算額	1,000	決算額	914
-----	-------	-----	-----

市民の安全を守るため、交通安全及び防犯上危険と思われる幹線道路、通学路に照明灯を設置した。

高圧ナトリウム灯110W 3基

設置場所 中央町・千歳町・登別港町

2 カーブミラー設置費

予算額	800	決算額	384
-----	-----	-----	-----

交通事故を未然に防止するため、カーブミラーの新設を実施した。

設置数 2基

設置場所 登別東町5丁目12番地先

美園町4丁目6番地先

3 美園57号線歩道新設事業費

予算額	24,698	決算額	24,596
-----	--------	-----	--------

① 予算額及び決算額の状況

(単位:千円)

区分	事業費	財 源 内 訳		
		市 債		一 般 財 源
		通常債	減収補てん債	
当初予算額	25,000	22,500		2,500
決 算 額	24,596	22,200	2,300	96

② 事業量の達成状況(単年度)

区分	当初予算の考え方	決算実績
歩道新設工	L=124m、W=2.0m	L=124m、W=2.0m
車道改良舗装工	L=140m、W=6.5m	L=125m、W=6.5m
転落防止柵	一式	L= 95m
○工事請負費	24,400千円	24,098千円

③ 全体計画及び進捗状況

全体歩道延長	H19までの改良済
1,617 m	1,431 m

項6 災害救助費

目1 災害救助費

章	1	節	3	施策	4
---	---	---	---	----	---

1 災害救助経費

(1) 災害見舞金

予算額	510	決算額	10
-----	-----	-----	----

災害で被害を受けた市民に対し、災害見舞金を支給した。

区 分	H19年度	H18年度	H17年度
支給件数	1 件	3 件	4 件